

生活

文化部生活班

TEL.098(865)5162

FAX.098(865)5196

メール:seikatu@ryukyushimpo.co.jp

木・金
掲載



佐藤未雲さん

ウムが開かれた。就労支援に携わる人や行政の担当者

「ひとり親家庭の就労状況の改善について」新しいライフワークの実現に向けて」(県母子寡婦福祉連合会主催)をテーマに2

「得意分野伸ばして」

県母子寡婦福祉連合会 ひとり親の就労論議



ひとり親の新しいライフワークのモデル... しい雇用状況を作り出すために必要... 株式会社 佐藤 代表取締役

ら約70人が参加した。専門学校のスペースチャイナ代表取締役の佐藤未雲さんが中国から来沖し、起業するまでの経験を講演した。パネルディスカッションでは、景気など社会情勢を踏まえつつ、前向きに働くための考え方や企業の取り組みが紹介された。

就労の現状や課題について議論した登壇者ら(左から)2日、那覇市首里石嶺の県総合福祉センター

る得意分野を伸ばすことが大切」とアドバイスした。

討論には佐藤さんを含め4氏が登壇。産業カウンセラーでキャリアコンサルタントの高良恵利子さんは自身もシングルマザーで転職を経ながら、非正規で働いていると説明した上で、中小零細企業、サービス業が多い沖縄の産業構造や景気の情勢を背景に「安定した正社員だけを求めると就職は難しい」と指摘した。

職場を広く求めていくことは大切」とアドバイスした。また、実務や社会経験を求めている事業者側と、資格取得に走る求職者の間にずれがある点も指摘した。

イオン琉球取締役GMS事業部長の安藤一裕さんは、「社員は7割が女性。女性がなくては成り立たない」と強調。女性の起業を支援するコミュニティスペース「沖縄ガールズクエア」の能塚善之さんは「環境を整えれば何かできる。一人で考えずに、仲間と声掛けし合った方がいい」と呼び掛けた。